

“精神障がい者”などへの対応を改善せよ!

11月号で掲載した障がい者年金申請での、保護課の“精神障がい者へのひどい対応”について、当事者の母親と、井上しんご市議・同事務員・八幡生健会・小倉生健会は、本庁保護課長に、法が定める「精神障がい者などに対する合理的配慮を求め」る要請をしました。

生活保護の利用者の中には、精神障がい者・高齢者・認知症患者・文書の理解力が困難な方などもあります。ところが、北九州市の生活保護の手引書などには、精神障がい者などに対する“合理的配慮”などの項目は全くありません。

事件の原因になった年金の再審査請求には「不支給決定通知書」が必要でしたが、通知書を紛失したので保護課に行き、保護課がコピーして保管している「通知書のコピーを下さい」と言うと、職員は生活保護利用者を見下げたよ

うな態度で「コピーは見せられない。法律で決まっている」と言われました。

この点で保護課長は、「個人情報保護の観点での発言と思うが、通知書は本人のものであり見せることはできる」と述べました。

事件発生時に、男性職員4人が立ち上がり、最初から“悪質なクレマー”とみなして臨んでいました。

国は、障害者に対して「合理的配慮・人格と個性の尊重・共生する社会・自立と社会経済活動への参加」を求めています。

生健会などは「保護課の職員にそうした観点が欠けていた。専門家を配置すべき。精神障がい者に対するマニュアルもない。改善を」「本庁保護課として、調査・検討し、回答を後日提出するよう」求めました。

えっふん

全国一律最賃の実施で、地方を豊かに

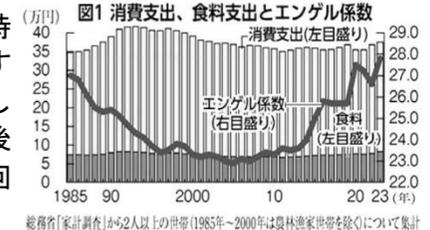
中学生の頃「エンゲル係数」のことを教えてもらい、「へー我が家の係数は高いなあ」と思った記憶があります。今、その係数が急激に上昇しています(右図)。エンゲル係数は=食料費÷消費支出×100で表されます。一度、計算してみたいはいかがでしょう。

エンゲル係数が上昇するのは賃金が上がらないのに物価が高騰しているからです。

働く人の4割を非正規労働者にするなど、「賃金が上がらない国」にしてしまいました。若い世代は、重すぎる教育費負担と奨学金の返済で苦しみ、年金・医療・介護の給付減・負担増は、すべての世代に不安と犠牲をもたらしています。

東京などへの人口集中も止まりません。北九州市の人口は92万人に減りました。武内市

長は選挙の時100万人に戻すと公約しましたが、就任直後の議会で撤回しました。



そんな中、全労連などが「全国一律最賃を時給1500円に」と闘っています。

福岡県の最低賃金は941円で、東京は1113円です。東京は物価も高いので当然と言われているが、全国一律の最賃を1500円にすると、東京でも最賃があがり、北九州市では東京と同じ賃金で物価も安い。これは地方にとっては大きな魅力になり、東京一極集中から地方に人がとどまり地方が栄えることにもなるのではないのでしょうか。



北九州市 道路・公園・河川 「道路等損傷箇所通報システム」で「市」に「修理依頼」が便利

道路や、公園、河川の修理や苦情をスマホで簡単に依頼することができます。

例えば、道路の場合、舗装・側溝・街路樹・白線・点字ブロック・標識・放置自転車等々の劣化や破損、不備などについて、市の担当部署に改善を依頼することができます。

公園や河川についても、遊具やトイレ、ベンチなどの破損やサビ等を。河川の場合も、護岸などの破損について修理を依頼することができます。

これらの不良箇所については、地図が表示され場所を伝えることができます。

国道や県道などについても、国県また、警察が所管している場合は伝えます。

「道路等損傷箇所通報システム」を開くには、右のQRコードを活用ください。または、
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kensetu/05300024.html>
でご利用ください。



通報システムQRコード



小倉生健会
生活と健康を守る
一人はみんなのために、みんなは一人のために



生健会が本庁保護課と懇談

生健会の北九州協議会が、北九州市に求めた新年度予算要望の中の生活保護に関するテーマで保護課と話し合いました。

エアコン支援。介護利用を抑制するな。自立更生費の改善を。通院移送費の周知を。車の保有改善を。変更決定通知をわかりやすくなどと求めました。

生活保護費16億円削減の予算案に“付帯決議”

「生活保護費を16億円減額」する武内市長の新年度予算(案)に対し“付帯決議”が圧倒的多数(維新の3人と市長と党の3人以外)の賛成で可決しました。

決議の質疑では、「17年前の餓死事件を繰り返してはならない」などの提案理由が表明されました。

生健会は、「16億円の削減案を撤回せよ」との要請文を、武内市長と全市議会議員に届けました。



市議会のHPより
付帯決議を提案し、質問に答える自民党無所属の会の中村義雄議員



3・13 重税反対 全国統一行動に参加

小倉民商が中心になって毎年確定申告時に開催しています(集会後にデモ行進)

《今週の箴言(しんげん)》
憲法とは国家が過去に犯した失敗リスト。失敗をリスト化し、禁止。これ以上繰り返さない様にするもの。
木村草太(小倉タイムスから)

小倉南区で「生活保護」の学習会

生活保護についての疑問に答える学習会です。

と き：4月20日(土曜日) 14:00~16:00
ところ：南生涯学習センター3階視聴覚室

生活保護を利用できるのに、実際に生活保護を利用している人の割合は2割で、残り8割の人は生活保護基準以下の収入で、食事や病院を我慢して、苦しすぎる生活をしています。そんな高齢者や、母子家庭、病気の人などがたくさんいます。

一方、「家があったら保護を受けられない」など、間違った情報も広がっています。生活保護を利用している方には、制度をもっと知っていただき活用していただきたい。利用をためらっている方には、制度をもっと知っていただき気軽に利用していただきたい。

生活保護を知りたいと思っている方も大歓迎です。
あなたも生活保護制度について、勉強してみませんか？



北九州市の 国保の実態と、特養の待機者数

国民健康保険証

2023年12月末

未交付・資格証明書・短期保険証交付

区分	未交付	資格証明書	短期保険証
世帯数	195	572	10764

※未交付は居所不明

国民健康保険料

2023年12月末

差押件数とその金額

区分	件数	金額(千円)
	463	137,947

お願い

生健会の北九州ブロック協議会が、北九州市議会に提出した陳情に添える署名用紙です。

会員でない方も署名のご協力をお願いします。

集まった署名は、4月末までにお近くの関係者までお届け下さい。

よろしくをお願いします。

市議会に陳情を提出

生健会北九州協議会は、市議会に生活保護の「通院移送費給付の改善」を求める陳情を提出しました



陳情を提出する、右から2人目小倉生健会の飯田富士雄事務局長。その左田中一郎副会長。

特別養護老人ホームの待機者

2024年1月

行政区	定員数	待機者数
門司区	746	316
小倉北区	1,173	400
小倉南区	882	365
若松区	611	238
八幡東区	313	155
八幡西区	1,498	531
戸畑区	351	277
合計	5,574	2,282

※ 待機者数は第1希望の申込者数

生活保護の「通院移送費」給付の改善を求めます

北九州市議会議員 田中 常郎 様

生活と健康を守る会北九州市協議会

【陳情趣旨】

生活保護の「生活扶助費」は、健康な人が生活するための、食・衣・光熱水などの必要をまかなう費用として、最低限の金額が定められています。病気やけがで病院にかかるときは、その費用が病院に直接支払われますが、通院のバス代などは含まれていないので、別途申請をして、必要額の給付を受けることになりません。

ところが、担当職員にこの交通費のことを尋ねると（交通費のかからない）近くの病院にかわりなさい、といわれることがあります。「病院をかえろ」と安易に言わないでください。医師と患者の関係は重要です。特に、信頼している医師を替えられることは大きなストレスにもなり、健康を取り戻す支障になることもあります。

また、市から渡される「生活保護のしおり」にも通院交通費（通院移送費）のことが書かれていますが、忘れてしまっていたり、説明をよく理解できていない人もいます。そのため、生活保護利用者が病気になった時には、食事代をけずって通院のバス代やタクシー代を捻出していることも見られます。いまバス代が値上がりしています。バスに1区間乗っても、往復400円を超えます。これは生活保護利用者にとっては1食分の費用を超え、3回通院すると1日分の食費を超えます。通院の交通費のために食事を抜くなどすれば、栄養がとれずにかえって健康を害する心配もあります。

生活保護利用者が通院を開始するときには、「医療券」を発行してもらうために、担当のケースワーカーに連絡を入れることになっています。その際にケースワーカーの方から、改めて交通費が必要な場合は申請を出すようにとの助言・指導を行ってもらえれば、このような心配が解消されることとなります。

以上のことから、生活保護の「通院移送費」の取り扱いについて、次のように改善いただきたく陳情いたします。

【陳情項目】

1. 通院移送費について、年1回の面談のときに「しおりを渡して説明する」だけでなく、医療券発行の際に、担当ケースワーカーから適切な助言をしていただくこと
2. 通院移送費の申請を希望する保護利用者に対して、極端な場合を除いて、近くの病院にかわるようになどの安易な指導をおこなわないよう、担当職員に対して周知徹底をはかること

氏名	住所

キ
リ
ト
リ
線